

偏見や差別につながる 行為をしていませんか

市や岩手県は、感染した人やその周囲の人に対する、不当な差別や偏見、誹謗(ひぼう)中傷などが生じないよう、人権に配慮した冷静な判断や行動を心掛けるようお願いしてきました。

多くの市民の皆さんには理解をいただいておりますが、一部には感染した人や居住する地域を特定しようという行為が見られます。

このような行為を行う人は、差別や偏見などの悪意はなく、自衛のために行っているとの考えがあるかもしれません。

しかし、このような行為をされた人にとっては、非難されていると感じたり、差別をされたと受け取る可能性があります。

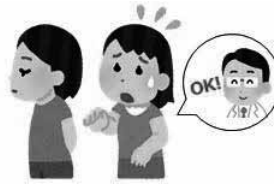
感染拡大防止のために必要な情報は岩手県から公表されるとともに、自宅待機の要請や消毒の指示などの必要な対応は、速やかに保健所より行われます。

医師や保健所の判断とは違う期間、職場や学校などを休ませたり、必要以上に遠ざけたりする行為や、過度な消毒を求める行為なども、差別的な対応につながる可能性があります。効果の根拠が乏しい中での過度な対応は不要です。

差別や偏見、非難にさらされることを恐れ、自分の症状に疑いを持つ人などが、検査を受けなかったり、重症化するまで受診しないという事態は、感染拡大につながる恐れがあります。

感染した人やその周囲の人が、余計な心配をせずに治療に専念でき、回復した人が地域社会に快く迎えられよう、思いやりを持った対応をお願いします。

▶問い合わせ先＝新型コロナウイルス感染症対策室(☎内線350)



正しい知識を再確認しましょう

■感染させてしまう可能性がある期間

新型コロナウイルスに感染した人が他人に感染させる可能性がある期間は、発症の2日前から発症後7～10日間程度とされています。

また、この期間のうち、発症の直前・直後で特にウイルス排出量が高くなると考えられています。

■どれくらい他の人に感染させるか

新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち、他の人に感染させているのは2割以下で、多くの人は他の人に感染させていないと考えら

れています。このため、感染防護なしに3密(密閉、密集、密接)の環境で多くの人と接するなどによって1人の感染者が何人もの人に感染させてしまうことがなければ、新型コロナウイルス感染症の流行を抑えることができます。

▶問い合わせ先
新型コロナウイルス感染症対策室
(☎内線350)



※【参考文献】厚生労働省「新型コロナウイルス感染症の"いま"についての10の知識」

発熱などがある場合は、電話をしてから受診を!

発熱など感染症が疑われる症状がある場合は、外出を控えてください。

また、医療機関を受診する際には、かかりつけ医にまずは電話で相談ください。かかりつけ医がない、またはどの医療機関に行けばよいか迷う場合は、以下に相談ください。

▶受診・相談センター(24時間受付)＝(☎019-651-3175/☎019-626-0837)

新型コロナウイルス ワクチン接種情報～第2回～

市は、市民の皆さんが正しい情報によってワクチン接種を受けられるように、お知らせをしていきます。

医療従事者以外の接種は、4月の高齢者から順次開始される予定ですので、最新の情報を確認しながら、接種にご理解とご協力をお願いします。本号の情報は2月16日時点のものです。

▶問い合わせ先＝健康推進課(☎②1581)



ワクチンについて 理解を深めよう

一般的にワクチンは、感染症に対する免疫をつけるために接種されます。これにより、①「個人の発症・重症化予防」、②「社会全体での感染症の流行防止」が期待されています。

1 医療機関の負担を減らすことができます

多くの方がワクチンを接種することで、発症者や重症者を減らし、医療機関の負担を減らすことができます。

2 安全性の確保を最優先にしています

国内で使用するワクチンは、有効性だけでなく、どのような副反応が起こりうるかなどの安全性についても、十分に確認した上で承認されます。また、接種が開始されてからも、副反応が疑われる事例を専門家が評価しており、安全性を継続して確認しています。

3 どんなワクチンでも副反応が起こる可能性があります

どんなワクチン接種でも、体内に異物を投与するため、接種部位の腫れ、発熱などの副反応が起こることがあります。さらに、治療を必要としたり、障害が残るなどの重度な副反応は極めて稀ではあるものの、何らかの副反応が起こる可能性を全く無くすることはできません。

新型コロナウイルス ワクチンについて

新型コロナウイルスは、未知の感染症であり、薬も開発中の段階です。

こうした中で、新型コロナウイルスワクチンは、重症化や、発熱などの予防に大きな役割を果たすことが期待されています。

ワクチン接種は、皆さんが感染予防の効果と副反応のリスクを正しく理解した上で判断していただくこととなります。本人の同意が無く、接種が行われることはありません。

1 無料で受けることができます

国では、全国民が接種できるワクチン量の確保を目指しています。ワクチンは、間隔を空けて2回接種しますが、自己負担はありません。

2 新型コロナウイルスワクチンの副反応

日本で使用が予定されている海外製の新型コロナウイルスワクチンは、接種部位の痛みや、頭痛・倦怠感・筋肉痛などの副反応が確認されています。なお、すでに接種が開始されているアメリカでは、重度の副反応は、100万回あたり5例と報告されています。

日本では、このような副反応による健康被害があった場合、予防接種法に基づき、医療費などの救済を受けることができます。

■ワクチン接種に関する詐欺電話に注意!

市役所職員を名乗り、新型コロナウイルスワクチンの接種を優先的に受けられるとして、現金を要求するという不審な電話がありました。

市がワクチン接種に関して、金銭を要求することはありません。このような電話を受けた場合には、信用せず、大船渡警察署(☎②0110)にご連絡ください。

